

## 第10回 まちづくり市民協議会会議録

日時：平成28年11月17日（木）18時30分～  
会場：市役所3階大会議室1・2号

出席者 委員 16名  
事務局 7名

### 1 会長あいさつ

市民協議会も今回で10回目となる。10月17日、10月18日、10月20日と、3日間で3つの専門部会が開催された。出席された委員からは、貴重な御意見をいただいたと聞いている。

本日の議題は、専門部会の意見及び第2次光市総合計画について事務局から説明をした後、審議を行うようになっている。本日もよろしくお願ひ申し上げる。

### 2 事務連絡

- ・議事の進め方について  
事務局から議事進行の考え方等について説明

### 3 議題

#### (1) 第2次総合計画について

事務局より資料に基づいて説明

#### 【質疑① 第1章から第5章まで】

→意見なし

#### 【質疑② 第6章から第8章まで】

##### ●委員

78ページの主要な事業例の矢印が実線と点線で分かれている意味は何か。

##### ●事務局

実線で引いてあるのは実施、点線は検討の意味合いである。凡例がもれているので付け加えたい。

##### ●委員

149ページの「政策1時代にあった都市づくり」という表現が古臭く感じるのでは何か他の表現ができないかと思う。

##### ●事務局

今回の総合計画をつくるに当たっての一番の問題は人口減少と少子高齢化に対応するた

めの政策として掲載したものである。何かアイデアがあれば教えていただきたい。

●委員

光市は水がきれいで、おいしいということで、全国でも知られているが、虹が丘に「光の水道料金は県内で一番高い」と書かれた大きなプラカードのようなものがあり、そういうイメージを持ってしまう。おいしい水を作るためにそれなりの料金がかかっていることを何かで示したほうが良いと思う。

●事務局

水道料金のことではなく下水道料金のことではないか。水道料金は安い方だと思う。水道局でPRはしている。これからもしっかりPRをしていく。

●委員

「時代にあった」という表現は、例えばSNSとか情報発信やそういう環境的な部分と  
思った。

●事務局

政策を展開する中で、人口減少に対応するという意味合いで掲載したところである。

●委員

委員の中でも重点を置いている政策は違うと思うが、個人的には市民参画というところに  
着目している。全体の中で重視すべき点はどこか。市民参画という観点で見ると、光市  
が先導して動いていくなど、ここを見れば重視していることが分かる場所はどこか。

●事務局

ちょっとかなり難解な質問だと思う。イメージとしては、この計画そのものは、市の進  
むべき総合計画であり、各分野の方向を具体的な進むべき道として整備していかなければ  
いけないということは理解いただいていると思う。その中で、見せ方とか誰もが手にとっ  
てみたい、最初の市長の思いとすれば、これを、まさしく物語のように読んでもらうとい  
うイメージは持っているかと思う。ただ、実質的な計画としては、なかなかそれはそうは  
ならない。

今回は、とりあえずの5年間でやることの道筋を示したいということであるが、少なく  
とも、中学生が考える「20年後の光市に寄せる想いや願い」は「ほっとコラム」に掲載し  
ており、この点が今までにない光市の総合計画の特徴であり、PRできるところであると  
考えている。

●委員

山口県の13市の中で光市しかない政策を、計画の中で示しているか。

●事務局

未来創生プロジェクトの7つに象徴していると考えている。例えば、光駅の橋上化、新  
総合病院建設等はほかの市が抱えている課題ではない。

なぜ、そういうもののプロジェクトということで出しているかということ、第6章は、全  
ての分野であり、総花的なものである。光市としてやるということをや7つの主要プロジェ  
クトにあげることによって、今から5年間、予算配分等重点化していくことを示している

ものであり、理解いただきたい。

●委員

やるべきことを計画化したらこうなるということだと思っている。そこをどういうふう  
に、PRするのかである。市民みんなが手にとるような冊子で配るといったことかもしれ  
ない。

●事務局

概要版等に整理するようになると思う。計画の趣旨がストレートに伝わるように表現す  
る必要があることから、工夫はしていきたい。

●委員

そういう観点をお持ちいただきたい。

●委員

全体的に光市の特徴をといてもなかなか難しいと思う。元気な高齢者が多い一方、今、  
就職をして結婚して子供を持つというような家庭の中での生活というのは氷河期に入っ  
ていると思う。魅力がある就職先がなかなかない、そのために自分の生活が安定できな  
い。したがって、結婚もできない。女性も働かなければいけない。結婚して子どもが産  
まれても、育てる方法がわからない。これは若者に対して良い環境ではない。将来5年、  
10年後の市の黒柱になる若者が、豊かなまちづくりに参画できるような、若者の育  
成等を前面に出した計画であってほしい。

●事務局

重点プロジェクトの「2 はぐくむ光！未来へ輝く「光っ子」育成プロジェクト」の「連  
携・協働によるふるさとに誇りと愛着を持つ人財の育成」の地域を担う次世代型のコ  
ミュニティ・スクールの推進、さらには、コミュニティ・スクールを進化させていき  
たいという思いがある。これらは、光で産まれて、光で育つ子どもに故郷をさら  
に好きになってもらい、故郷の良さを知ってもらおうとする趣旨のカリキュラム  
を出しており、これらを通じて若者の教育、故郷に誇りを持ってもらう、ある  
いは遠くなくても常に故郷に目を向けてもらうような子どもを育てていこう  
とする思いがある。

●委員

今の人間を育てることに重点を置いたまちづくりのイメージを前面に出して  
いただきたい。そこに重点を置いた光市といったキャッチフレーズができれば  
良いと思う。

●事務局

このためにまさに、重点プロジェクトの「2 はぐくむ光！未来へ輝く「光っ子」  
育成プロジェクト」がある。

●委員

それを皆さんに理解させていただきたい。

●事務局

7つのプロジェクトにまとめているのは、限定的な分野を7つ絞り込んで出  
していると思う。理解いただきたい。

●委員

何か特徴があるというものが、第1番目に言葉として出るようなまちづくりにしていただきたい。

●事務局

このプロジェクトを中心に光市の目指す方向、重点化施策であるというPRをしていく必要がある。

●委員

7つのプロジェクトが柱であり目玉であるとのことであるが、そういう見せ方は大事だと思う。ただ、一方で第6章に出てくる内容をしっかり読んでもらって、一緒にやっていたりすることは、地味であるかもしれないが大事だと思っている。

特に、(101ページの)「重点目標2 人間性を育み可能性を高めるために」の部分については、学校現場の人間からすると、教育委員会と学校が一体となって取組みを進めていく必要があると思っている。

具体的な質問になるが、103ページの主要な事業例に掲げられた事項について、これは誰が主体となってやるものなのかということを確認させていただきたい。担当として「学校教育課」や「文化・社会教育課」と書いているが、これは教育委員会がやるということなのか。あるいはここには書いていないが学校がやるのか。これについての整理が必要であるのではないかなと思う。

例えば「学校保健の充実」について、実際にやるのは学校であるから、学校現場の立場からすると、それに対して教育委員会が具体的にどのような支援をするのかということが出てきてほしいと思う。「学校における食育の推進」は学校が主体となってやるのだろうが、これをやるために教育委員会がこのような手段で支援していくということが出てきてほしい。この計画の中には学校が主体となってやることが多く入っていると思う。

●事務局

この計画は、「行政」がやる計画であるから、行政の中で各所管として位置付けたわけであるが、さらに下の中で学校現場なのか教育委員会なのかということはあるかもしれないので、担当は、大きく「教育委員会」とした方が良いのかという思いもあるところである。

●委員

同じことの繰り返しになるが、例えば、「学校保健の充実」が事業例の中にあるが、この「学校保健の充実」をするために具体的にどのような取組みを行うのか、もう少し具体的な記述があると、学校現場からするとイメージがわいて良いと思う。

●事務局

担当課については、市民に対してわかりやすくするために、例えば、各事業について進捗状況を知りたいときにどの課に聞けばよいのかがわかるようになる。このような考えで記載しているところであるので、少し検討させていただきたい。

●委員

例えば「いじめ等への総合的な対応」については、学校がやらないと始まらないもので

あるから、学校現場は対応する。しかし、これを行うためには色々な取組みを行う必要がある。その中で、教育委員会が、例えば「いじめ防止基本方針」を徹底するから、学校もそれにより具体的な取組みを行うことをしようとなる。具体的なものがもう少し出てきてほしい。

●事務局

取り組む主体というより、その状況を把握できている所ということで捉えていただいた方が良くもしいない。これは、市民に対して見せたときの話である。

●委員

例えば、(103ページの)「学習スタイル「ラーニング光」の開発・実践」については、具体的にどのようなものかがわかるが、「学校保健の充実」はものすごく大きなものであり、様々な内容を含んでいる。このように、各項目の大きさにばらつきがあるように感じてしまう。

また、108ページの「次世代型コミュニティ・スクールの推進」との記載があるが、恐らくこれは教育大綱に出ているものであると思うが、これだけを見ると「次世代型コミュニティ・スクール」というものがどのようなものなのかは、私にもよく分からない。この内容がどのようなものなのかをどこかのページで解説していただきたいと思う。

●事務局

主要な事業例については、先ほど申し上げたところであるが、この部分は議決が必要なものではないことから、これは来年度予算に向けて新たな項目が入るなど、まだまだこの部分については整理が必要であると考えている。

●事務局

これは、教育大綱と整合を図るために記載しているものであるが、我々も「次世代型コミュニティ・スクール」の内容については勉強不足であり、よく理解できていないのが現状である。

●委員

物の考え方には、フォアキャストとバックキャストの考え方がある。フォアキャストは基本的な考え方であり、過去の事例からも考えてやっというとする考え方で、バックキャストは、将来がこうあってほしいから、今こういうことをやっという考え方である。中学生が20年後の未来を考えているが、その考えは計画のどこに入っているのか。

●事務局

50 ページから先、具体的なイメージというものを示している。アンダーラインの一本線は主に中学生の提案、二本線はまちづくり市民協議会委員の意見について整理している。

●事務局

対話集会でいろいろな意見を聞き、ここでも20年後の姿をイメージするということで整理しているが、絵として見えてこないところがあり、概要版等に通すること等を通して絵で示せると思っている。

●委員

難しい内容が含まれており、なかなか全部は理解することはできない。本庁舎の耐震化の在り方については、時間外に市民活動のための場所として提供しているところもあると専門部会で出た。そういった庁舎であればいい。耐震化だけにとらわれずそういったものも同時に考えることは可能か。

●事務局

庁舎を建て替えるとなった場合には、どういうものにするのか等を市民と一緒に考えていくという手順を踏んで、計画が作られると思う。その過程の中で、意見のような、スペースを取ってほしいという意見も踏まえたものになると思う。

●委員

周防地区における市職員の地域ふれあい協働隊の協力に対して感謝申し上げたい。

●事務局

市民参画は双方向参画を目指したい。市役所の若い世代に出てきて欲しい。

●委員

3年の間に情報交換をよくやっておかないと心が映らないと思う。そこを大事にしたい。

●委員

光駅の橋上化について、光市の端にあるのはどうか。中心部に移動は考えられないのか。橋上化によるメリットはなにか。計画に盛り込むべき。他方で今の駅の活用も考えるべきではないか。

●事務局

光駅の移動は昔からある話だが、現実的には、ほぼ不可能である。一言で橋上化と言っているが、いろいろな形がある。断絶している南北を結ぶ意味でも橋上化は有効である。駅舎を改築して南北を結ぶのか、他にもバリアフリーの課題もあることから、そういったことも含めてJRと協議し、進めていきたい。

#### 4 その他

○ 事務局から今後の予定等について連絡

- ・ 本日いただいた意見を踏まえて12月議会に報告する
- ・ 12月から1月にパブリックコメントを予定
- ・ 次回会議は2月2日（木）18時30分からの予定  
（議会上程の前に最終案に対する意見を伺うため）